

第6学年「算数」学習指導案

授業者 久下谷 明

2月21日（金）2階B室 10:00～10:40 話し合い10:55～11:45

1 題材名 データをもとにして

2 題材について

新学習指導要領（平成29年告示）において示されたように、今回の改定によって、学習領域の1つとして、「D データの活用」が設定された。そして、第6学年では、「身の回りの事象から設定した問題について、目的に応じてデータを収集し、データの特徴や傾向に着目して適切な手法を選択して分析を行い、それらを用いて問題解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察したりする力」を養うことが求められている。

このことを踏まえつつ、本実践では、『図書コーナーを充実させるために、図書購入計画を立てて、提案しよう。』というテーマで学習活動に取り組む。目の前の子どもたちは、卒業まで残り1か月となった。これまで、教科学習や「てつがく創造活動」など、様々な場面において、図書コーナーを利用して調べ学習を行い、その学びを深めてきた。（もちろん、個々の差はありつつも、日常的にも本を借り、本から多くのもので得てきた。）その経験を踏まえ、充実した図書コーナーになるような図書購入計画を皆で考えていければと考えている。その際、“充実した図書コーナー”と言っても、「充実」の捉えは様々ある。まずは、対話を通してそのイメージを言語化し、どのようなデータを集めるべきかを考えていきたい。また、データは同じであっても、それをどのように処理し、どのように解釈して結論を導くのかは、取り組むグループの考えや思い（価値観）によって異なることが予想される。その考えや思い（価値観）を共有しながら、図書購入計画を検討し、学級として1つに決めていき、最終的には司書の先生に提案できればと考えている。

また、一連の学習活動を進める際には、教師も子どもも一緒に、統計的探究プロセスを意識しながら、活動全体の計画を立てて、進めていくようにしたい。本時は、学習活動の5時間目にあたる。探究を通して生まれた問い等を大切にしながら、丁寧に活動を進めていきたい。

3 学習指導計画（5時間目／全7時間） *小単元として設定した

(1) 問題の設定と集めるデータの検討	1時間	(4) 考えの共有	本時1時間
(2) データの収集	1時間	(5) 考えの再検討とまとめ	1時間
(3) データの分析	2時間	(6) 学級としての結論決め	1時間

4 本時の学習について

(1) 本時のねらい

データをもとに考えたそれぞれのグループの提案を聴き合うとともに、それぞれのグループがどのような点を重視した購入計画なのかを共有する。

(2) 予想される本時の展開

主な学習活動と子どもの姿	留意点
1 これまでの活動をふり返る。 活動テーマ『図書コーナーを充実させるために、図書購入計画を立てて、提案しよう。』	・ 活動テーマとともに、自分たちが考えた「充実」のイメージを確認する。
2 考えた図書購入計画をグループごとに説明する。	・ “データ”と“それにもとづく考え”を意識して説明するようにさせる。
3 出された考えについて検討する。 学級としての提案の方向性を検討する。	・ 各グループの特徴やそれぞれのグループに共通していることは何かに着目させる。

□授業後の話し合いで話題にしたいこと

- ・ 6年生の「データの活用」の学習活動として大切にすべきことは何か。
- ・ 本時において『多彩な数学的コミュニケーション』がみられたか。